

工大広報

No.251 2009年1月9日発行

東北工業大学広報委員会

〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町35-1 TEL022(305)3145
ホームページアドレス <http://www.tohtech.ac.jp/>



**食堂へ行こう！ 八木山キャンパス食堂リニューアル／長町キャンパス食堂
卒業研修・研究に取り組む学生たち
教育改善の取組み 第4回教育改善シンポジウム
就職：各学科の状況／3年生へのアドバイス**

ライフデザイン学部設置記念講演会
第3回 秋の八木山フェスタ
学生の自主活動紹介⑪
2009年を迎えて



創造から統合へー仙台からの発進
東北工業大学

<http://www.tohtech.ac.jp/>

卒業研修に取り組む学生たち

毎年この時期になりますと、学生たちは厳しい冷え込みの中で卒業研修や研究に追われ、あわただしい毎日を送っています。これまで取り組んできた実験や調査などをまとめて、論文や設計、制作の仕上げ作業などのためキャンパスは遅くまで明かりが灯っています。各研究室での様子を紹介してもらいました。

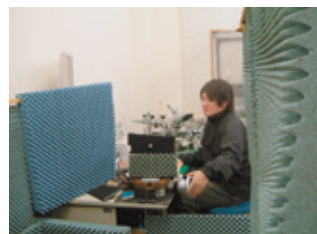


工学部 情報通信工学科

学会発表を終えて

4年 柳沼 薫
やぎぬま かおる

私が所属する沢田浩和研究室は、日本で免許不要の59GHzから66GHz帯の周波数を使用し、高速無線通信が可能なミリ波の電波伝搬やアンテナに関する研究をしています。私は主に電波伝搬の研究をしており、9月16日(火)から19日(金)に行なわれた電子情報通信学会によるソサイエティ大会で研究発表をしました。学外での研究発表は今回が初めてだったので緊張や不安はありましたが、大学にいただけでは味わえない良い経験ができたと思っています。この発表をするにあたっては、沢田浩和講師や同研究室の学生の協力があったことに感謝しています。今後はアンテナの設計にも挑戦し、様々な大会や研究会で発表したいと思います。



工学部 建設システム工学科

岩手・宮城内陸地震による被害を通して

4年 三浦 勇希
みうら ゆうき

2004年新潟中越地震による山間部災害は、私たちに直下型地震のすさまじさを改めて痛感させました。私たちの身近でも2008年6月に岩手・宮城内陸地震が発生しました。発生直後、国内最大級の荒砥沢ダム上流地すべり現場へ現地調査に行った私は、道路の寸断や巨大な地すべりのすさまじさに目を凝めました。

現在千葉研究室では、これらをはじめとする山地・丘陵地に関する斜面災害の発生要因の研究を進めています。実際、地すべりや崩壊が発生した地域で現地調査し、地質や地形等あらゆる面から発生メカニズムを解析しています。この研究成果が「人々の土砂災害に対する理解」につながるよう、今後の研究にも力を入れていきたいと思っています。



工学部 環境情報工学科

環境に関する教育支援

4年 高野 美早紀
たかの みさき

私の所属する近藤祐一郎研究室では、環境に関する教育や空間、デザインなどについて研究しています。私は、主に環境教育を題材として仙台市内の小学生と一緒に活動をしています。現在は、給食で飲み終わった後の牛乳パックを利用したエコバックを制作し、近くの商店街で実際に利用する仕組みについて検討しています。小学校・商店街双方にとってよりよい活動ができればと考えています。多くの人の協力がなくてはならない活動のため、学ぶことや反省することが多く、日々の活動がとても充実しています。この活動を通して、小学生だけでなく多くの人に、環境について少しでも考えることのできる場が作れればと思っています。

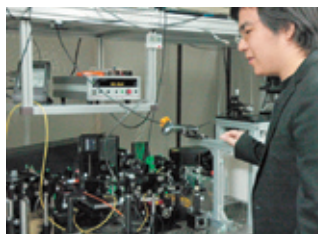


大学院 電子工学専攻

レーザ光で体の中を見る

電子・光子応用工学部門 南部 雄也
博士(前期)課程2年 なんぶ ゆうや

光で体内を計測すると言ってもよく分からないかも知れませんが、太陽に手をかざすと手が透けて見えます。しかし骨などは見えません。体は光を通して、散乱されてしまってもっと出てくる光がほとんどないためです。そんな光を使って人の体の中を見ようというのが私の研究テーマ「フェイズドアレイ型超音波トランスデューサを用いた超音波タグ蛍光断層画像計測法の研究」です。私の役割は計測手法の確認という初歩の段階です。最終的には生理・化学的な生体内の微妙な変化を検出できる装置として、新たな医療機器への応用を目標にしています。学生生活も残りわずかですが、残された時間を後輩たちと有効に過ごしたいと思います。



卒業研修発表会

2月12日(木)～18日(水)	デザイン工学科卒業研修発表会
2月16日(月)～17日(火)	建築学科卒業研修発表会
2月18日(水)	建設システム工学科卒業研修発表会
2月18日(水)	環境情報工学科卒業研修発表会
2月27日(金)	情報通信工学科卒業研修ポスター発表会
3月3日(火)・9日(月)	電子工学科卒業研修発表会

学外発表

2月20日(金)～25日(水)	K-WORKS2008 ～環境情報工学科卒業研修成果発表～ (一番町ロビー1階)
2月27日(金)～3月4日(水)	建築学科・デザイン工学科卒業制作展 (せんだいメディアテーク5階)

大学院・専攻発表会

2月19日(木) ※予定	通信工学専攻発表会
2月19日(木)	建築学専攻発表会
2月19日(木)	土木工学専攻発表会
2月19日(木)	環境情報工学専攻発表会
2月20日(金)	電子工学専攻発表会
2月20日(金)	デザイン工学専攻発表会

大学院 建築学専攻

安全・安心な建物を実現する構造システムの開発研究

制振構造学部門 木村 将大
博士(前期)課程2年 きむら まさひろ

私が所属する船木尚己研究室では、地震に対する建物の安全性を向上させる構造システム(免震、制振構造)の開発を主な研究課題としています。修士論文のテーマは「ロッキング構法を適用した制振壁を有する骨組の振動応答特性」です。地震によって生じる建物の振動を、壁に充填したエネルギー吸収材料に伝達し、建物の揺れを低減するシステムの開発研究を行なっています。具体的には縮小試験体による振動体加振試験を行ない、本システムの効果を確認しています。最終的には、自ら作成した応答解析プログラムによる応答予測を行ない、設計手法を提案するつもりです。本研究によって、一つでも多くの生命、建物、財産を守りたいと考えています。



大学院 デザイン工学専攻

活動のパターンをデザイン開発に活かす方法の研究

産業デザイン計画部門 足立 邦登
博士(前期)課程2年 あだち くにと

私は昨年より、コミュニティを支援するメディアを対象として、それをデザインするための手法について研究を進めてきました。私が取り組んでいる情報デザインの分野の面白さは、今までモノ作りの担い手が獲得してきた「人間の身体的な制約」という、あらかじめ予測できる見込みに留まりません。人々が行なっている作業やコミュニケーションといった膨大な経験の中にある「人々の工夫や繰り返し行なってきたこと」から価値を見出し、それを支援する道具のデザイン表現へ落とし込むことにあると思います。人々の活動の中にある普遍的な価値を「活動のパターン」として捉え、本当に必要な道具をデザインする手法の開発のため、日々研究を進めています。



本学の教育改善の取組み

教務部長 小林 正樹
こばやし まさき



9月3日、第4回教育改善シンポジウムが本学FD委員会と教務部の共催で行なわれました。学生の多様化という現状にあって、大学教育の「質の保証」とそのための組織的な教育改善活動が強く求められています。本シンポジウ

ムでは「少子化時代の大学教育－多様な学生への対応－」をテーマとし、多様化の現状とそれに対応した教育改善のあり方、その中で学生を伸ばすために最も必要なこと、また学生の視点から見えてくる教育改善策、について3名の教員が講演を行いました。講演と討論を通じ、今後の教育改善の方向性を全学的に共有することができました。当日はまた岩崎俊一理事長より、現代の教養教育のあり方として、専門教育と統合した教養教育について特別発言がありました。

(知能エレクトロニクス学科 教授)



主催者挨拶



討論・まとめ



発言する岩崎俊一理事長

多様化する学生の勉学姿勢

前FD委員会委員長 志田 正男
しだ まさお

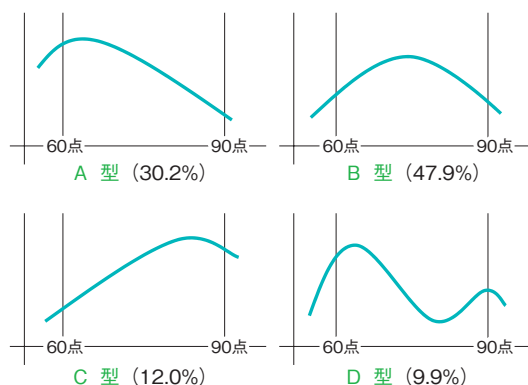


今回のシンポジウムでは、多様な育ち方をし、多様な要求をもった学生それぞれに、学習意欲と思考力を高めさせるという現代の大学教員にとっての難題に「教員個々ではなく、組織的に取り組もう」と提案しました。そのためには、FD委員会が中心になって教員がお互いの授業にも一歩足を踏み入れ、研究し、それぞれの意思を伝達できるシステムを作ることが必要です。

そこでは例えば、右の図に示したように、教員がそれぞれの授業で学生につけた評点がどんな分布をしているかを調べた調査結果を見ながら、「先生の授業はできる学生には喜ばれていますが、不合格者も多い、どっちもやる気を出すようにどんな工夫を？」とか「先生は出席していればみんな合格点をつけますが、それでは学士としてのレベルが達成できないのでは？」といったことも議論します。FD委員会では、先生方の教育力の向上と、学生の学力向上は一体的なものだと考えています。

(ライフデザイン学部長)

教員の学生成績評価の分布型



どんな生徒が伸びる学生になるか ：入試と成績

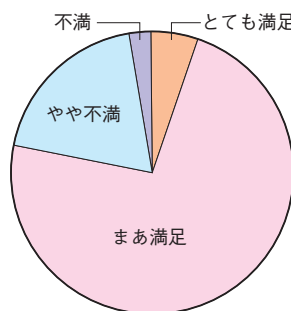
情報通信工学科 准教授 中川 朋子
なかがわ ともこ



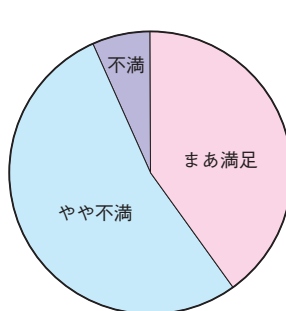
大学における学力の多様化が全国的に注目を集めています。「最近、学力が二極化しているのではないか？」という疑問に答える形で、情報通信工学科のデータの分析例を

教育改善シンポジウムでお話ししました。入学直後の数学テストでは、早期に入試の終わる AOVA 入試や指定校推薦入試による入学者と、大学入試センター試験利用入試や一般入試による入学者の間に差が見られましたが、入学後わずか半年で差が縮まり、大学での勉強のしかたを身につけるとどんどん伸びてゆくことがわかります。伸びる学生の特徴は「入学動機が明確」「自学自習ができる」ことです。入学動機が明確な学生の多い指定校推薦入学者に大きな飛躍が見られるのはこれが理由と考えられます。

専門知識や技術の習得を期待して入学



何も期待せず入学



入学目的と入学後の大学生生活(情報通信工学科 学習意欲調査より)



学生アンケートから見えてくる 改善すべきこと

建築学科 准教授 石井 敏
いしい さとし



外部評価委員会により実施された学生アンケートを活用し、特に授業に関する項目について結果をまとめ、教育改善につなげるための方策について私見を交えてお話ししました。授業評価からは、改善につなげるためのキーワードやヒントが浮かびあがりました。一方的に教える授業ではなく、学生の視点に立った授業の内容や方法が求められています。教育改善に向けては教員個々の努力はもちろん、



大学としての取り組みなしには実行できないことも多々あります。今、大学に求められていることは、学生生活の満足度100%を目指すことだと思います。学生生活の中でも日々の授業は大きな要素ですから、授業改善は待ったなしの課題だと言えるでしょう。

内容	教え方
実用的・実践的 将来に役に立つ 身近な問題 生活に大いに関連 おもしろい 学習意欲がわく内容 興味ある内容 楽しい 達成感 「大学」らしい 先生の経験に基づく話題	字がきれい 声大きい 聴きやすい 丁寧 わかりやすい・明確 スピードがよい 説明が詳しい
熱意がある・熱心 教員の努力が見られる 厳しいけど適切な指導 個々と向き合ってくれる	自分の能力を伸ばしてくれる 学生への問いかけ 先生と接しやすい
【授業～プラス評価としてあげられる要因】	

大学としてやるべきこと→学生の「満足度」アップ

- 大学の客観評価・改善(在学生、卒業生へのアンケート)
満足度・充実度が学年とともにアップするような大学
- 環境整備
学生の生活環境、施設環境の改善
- 学生の声に耳を傾ける大学としての姿勢
- 大学をよりよくしていくという意思表示と改革
- 大学としての姿勢・教育のポリシーの明確化
- 大学からのメッセージの発信、理念の共有化
- 地域との連携(住宅地に存在する大学としてのあり方)
- 教員の負担軽減(よい教育をするための「ゆとり」)
- 教員の「教師」としての教育

教員がやるべきこと→教育力のスキルアップ

- 自己評価・改善
- 客観評価・改善
- 「よい授業」とはどのようなものかの理解
- 「よくない授業」とはどのようなものかの理解
- 学生の声に耳を傾ける真摯な態度
- 授業の目的、目標の明確化
- シラバスの改善
- 試験のレベル、内容(何をどこまで求めているか? 評価の方法は? 一方的に決めるのではなく認識の共有)
- 学生個々を知る(名前・顔...)
- 実習、実学の強化(どのようにして、学生個々に自信をつけさせることができるか)

食堂へ行こう！

■八木山キャンパス

昨年9月にリニューアルしました。

営業時間

11:00～19:00

(ラストオーダー18:30)

※15:00以降はメニューが変わります。



安全・安心・おいしく、そしてリーズナブルへの挑戦

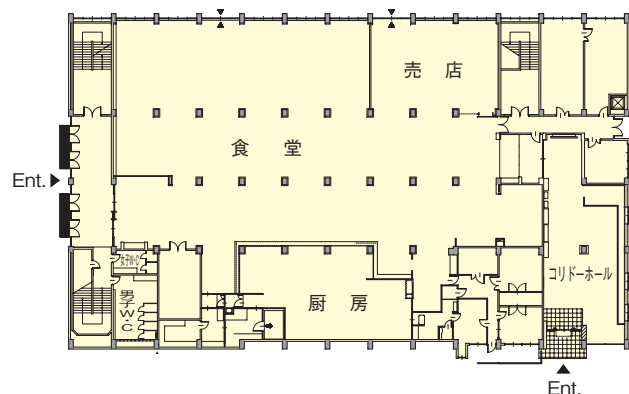
八木山キャンパス 食堂

マネージャー 清水 秀司

しみず しゅうじ



八木山キャンパスの食堂は2008年9月に全面的な改装工事により、明るく、きれいに生まれ変わりました。この機会に40年余にわたる工大事業部、ユニパルを経て、当社だい久商事株式会社が夏休み明けからお世話をさせていただくことになりました。スタート時は、従来の小食堂がコリドーホールとなり、食堂ホールの流れやメニュー品の種類や価格が変わり、ご利用される学生の皆様、関係の皆様には大変な戸惑いを感じられ、数々の貴重なご意見やお叱り、励ましをいただきました。「食は全てに優先」される生活の原点です。その食が、何かと問題になり、話題に上りましたが、何をおいても安心できるもの、安全（ぜったいに）なものを「おいしく、そしてリーズナブル」に提供し、継続することが使命と考え日々スタッフ一丸で頑張っています。



学生に聞きました

好きなメニュー

八木山の人気No.1はカレー種類も豊富！

好きな理由

- おいしい
- カレーが好き
- 安い値段で食べられて、おいしい
- いろいろ種類があるから
(カレーライス、とんかつカレー、鶏の唐揚げカレー)

こんなメニューがあったらいい！

- カフェテリアのメニューで、肉じゃがや野菜炒めといった惣菜が増えればいいと思います。
- 日替わりメニュー。
- 健康を気遣う（ヘルシーな）料理。
- 丼ものを増やしてほしい。
- 安くておいしくて量があるメニュー。
- ハヤシライス、マーボー丼、焼きそば、ステーキセット、デザート、鶏肉料理、親子丼、明太子パスタなど

お気に入りメニュー

夕食：夕方の時間帯も昼と違ったメニューで、大好きです！

天ぷらうどん：かきあげがおいしいから。

カルボナーラパスタ：今回初めてメニューに加わり、味もおいしいので気に入っている。

天ぷらそば：天ぷらがさくさくしていて、麺つゆも濃すぎず薄すぎず、ちょうどいい。

ラーメン：味がさっぱりしている、安いし普通においしい。



■長町キャンパス

営業時間
10:45~13:30

見晴らしの良い食空間です。

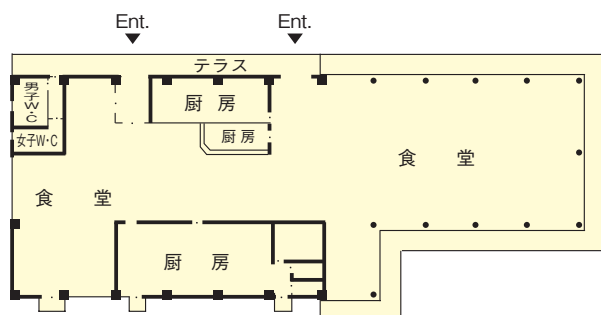


おばちゃんの夢と願い

長町キャンパス食堂
高野 まゆみ
たかの



工大・長町キャンパス食堂に勤めさせていただいて10年になります。食事を楽しみながらとすることは、健康な生活をおくる上で大事な基本です。私も食堂のおばちゃんは学生さん達と同じ年齢の子供を抱えておりますので、みなさんを我が子のように思い毎日の安全でおいしい「昼食」作りに励んでいます。厳しい東北地域の大学生協の基準とその指導の下、アジア、九州沖縄、みちのく、北海道といったフェアを取り入れながらメニューを展開しつつ、厨房内の衛生管理の徹底に日々努力を重ねております。一番の人気メニューはここ数年「キムチ丼」367円です。卒業生が懐かしい味にご来店くださるほどです。あと何年工大の皆様の昼食作りのお手伝いができるかわかりませんが、ピーク時の混雑解消、広々とした食堂スペースの確保、動きやすい厨房の改善、夢と願いは頭の中を駆け巡ります。



学生に聞きました

好きなメニュー
長町の人気No.1は
やっぱり、キムチ丼！

好きな理由

- どの店よりもおいしいです。
- 辛さがちょうどいい。
- おいしくてお腹いっぱいになるから。
- 豚キムチとサイドメニューを合わせると、一人暮らしには十分なほどの栄養がとれます。



こんなメニューがあったらいい！

- 一つの決まった日替わり定食があってもいいと思いました。
- ハンバーグ、魚料理など、色々な定食があったらいい。
- フルーツ盛り、季節のおかし（例えば秋なら団子、冬に雑煮・お餅・おしるこ）など。
- 鶏の唐揚げ定食など。
- 親子丼、ハンバーガー、五目焼きそば、クレープ、餃子、ビーフシチュー、キムチ汁、つけめん、パフェ、シチュー、天丼、いちご、ムース、きのこ料理、焼きおにぎり、フルーツサラダ、ゼリー、チンジャオロースーなど



お気に入りメニュー

パンナコッタ：ブルーベリーソースがいい。

味噌ラーメン：ラーメン系は特においしくて大好きです！ボリューム満点!! サービスも良いです。

鯖味噌、ハムマヨロール、いもサラダ、味噌汁：味がしっかりついていて、やわらかく、食べていて幸せになれる。

ラーメン：味がおいしく、期間限定メニューもあって飽きない。

炒飯(小)、サラダ、おかず1品の組合せ：3品でバランスも良く、ボリュームも申し分ない。安いのでお気に入りです。



就職 各学科の状況／3年生へのアドバイス

知能エレクトロニクス学科

自分の「質」を高めるように

知能エレクトロニクス学科（電子工学科）の10月末の就職状況は、内定率が85.4%で昨年の同時期と比較して、数ポイント減少しています。これは就職環境の厳しさというよりも、未定学生の就職活動に取り組む意欲が低いことが一因と考えられます。今後、内定を得られるように学科の就職委員を初め、全教員が一丸となって学生の支援に当たりたいと思っております。

一方、3年生に対する求人活動が始まりました。ご存じのように、現在、世界的な金融危機に陥っています。株価の暴落や自動車メーカーを初めとした企業の減益などのニュースが毎日流れています。これらのことが起因して、「売り手市場」と言われている状況が一変し、再び就職氷河期の到来が予想されます。これに対処するには、基礎的、および専門的知識をしっかりと身に付ける必要があります。就職活動のピーク（来年4月以降）まで半年ほどあります。この間、最大限の努力をし、自分の「質」を高めるようにして下さい。

教授 大羽 克彦（おおば かつひこ）

情報通信工学科

就職情報の整理と活用を

情報通信工学科の10月末の就職内定率は89.9%で、昨年同時期とほぼ同じ割合になっています。今後全員が内定を得るように指導を強めていく予定です。

今年の4年生から、進路支援セミナー（2年後期開講）や情報通信工学セミナーⅡ（3年後期開講）において、学部学生と大学院生のインターンシップや就職の体験談を聴く機会を設けました。身近な先輩の話をお聴きすることで、進路に対する意識の向上や実際の就職活動の状況を知る上で、学生にとっては大きな刺激となり、早い時期に就職活動を開始する学生が増えてきたように感じています。

3年生に対してもさまざまな就職支援プログラムがスタートしました。得られた就職情報を整理し、現実的に即した活用をすることが大切です。学科としてもきめ細かな就職支援体制を整え、学生の活動をサポートしていく予定です。

教授 高野 剛浩（たかの たけひろ）



就職講演会（2008年10月）知能エレクトロニクス学科



適性テスト受検会（2008年10月）



女子学生のためのメイクアップ講座（2008年11月）

建築学科

就職戦線に異変あり

今年の4年生の就職活動には二つの異変がありました。一つは3年時の12月に採用内定者が出たことです。これは大学の教育にとっては好ましくないことですが、企業の求人活動は年々早まっており、これに対処せざるを得ない状況となっています。建前では日本経団連の倫理憲章で、4月1日選考開始そして10月1日以降の内定決定となっているのですが。

二つ目は住宅産業への受験者と内定者数が激減し、ここ4、5年の半分となったことです。原因としては昨年6月の建築基準法の改正（耐震偽装事件にかかわるもの）により、建築確認申請に大幅な時間を要し建築工事がストップしたことや、住宅需要の先行き不安により、採用手控えが始まったものと考えられます。そんな折り10月はじめには世界的金融危機も生じ、来年度の就職戦線は大変なことになるそうです。しっかりと準備と対策が必要でしょう。

教授 阿部 良洋（あべ よしひろ）

建設システム工学科

好調な内定状況

本年度の求人数は昨年度よりさらに多く、好調です。10月末の内定状況も80%を超えており昨年度同時期より10%以上も高い値となっています。学科では、未定学生に希望職種や希望勤務地を確認し、これを基に一層強力な指導を行ない、就職率100%達成を目指しているところです。

3年生に対しては、後期に入ると本格的な就職支援が行なわれるようになりますが、これらに積極的に参加して下さい。企業の採用活動は年々早まっており、12月になると求人票も多数届くようになります。建設系の業種にもいろいろなものがありますので十分に研究し、自分の性格も考慮に入れて絞り込むことが必要です。また、希望する勤務地も重要なファクターになりますが、あまりに狭い地域に限定すると難しくなる傾向がありますので、できるだけ広く考えて下さい。

教授 中山 正与（なかやま まさと）

▷ デザイン工学科

早めにポートフォリオ（作品集）の準備を

デザイン工学科の10月末における内定者は50名で内定率58.8%、昨年度同期65%よりも低い状況です。再募集をしている企業がある一方で内定取り消しも出始めており、特にビジュアル関連の就職では苦戦しています。

2年次前期のデザインセミナーⅢおよび後期のデザインセミナーⅣでは進路支援科目として、OB、OGを招いてデザインの現状について話をしてもらっています。11月には3年生のための模擬面接を実施しました。

大手企業は11月頃からデザイン実習の募集を始め、翌年の2～3月に1週間から10日間の実習を実施して、採用者を決定します。従って、3年生の11月頃までには、ポートフォリオ（作品集）の準備が整っている必要があります。ポートフォリオがなければ、エントリーさえ不可能となりますので、まずは、早めに就職活動への意識を持ち、ポートフォリオを準備することが必要です。

教授 原田 一（はらだ はじめ）

▷ 環境情報工学科

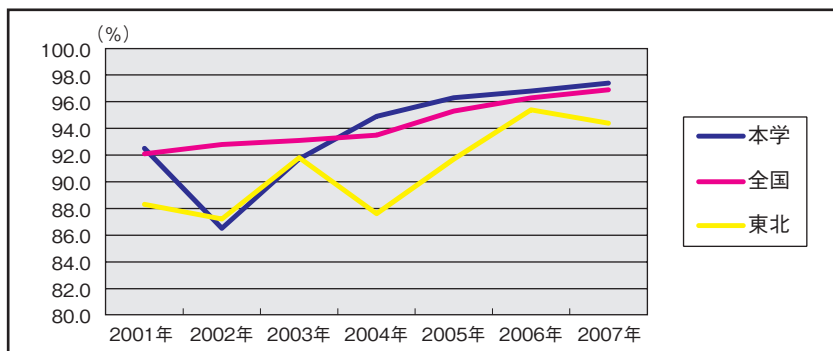
目標を持って計画的に着実に

昨年度の就職希望4年生（第4期生）の最終内定率は97.8%で、残念ながら100%を達成することはできませんでした。今年は内定率100%を目指して、キャリアサポート課と協力して学科教職員一丸となって就職活動の支援を行なってきました。そのおかげで今年度の上半期は出足が好調でしたが、7月頃からアメリカ金融危機の影響で日本経済の先行きが不透明になり、現在では企業の求人採用にも陰りが出始めています。しかし今年度本学科へ求人を申し込んだ会社数は既に1000社を越えており、あまり悲観的になることはありません。

このような時期だからこそ学生諸君はしっかりと自分の目標を持って計画を立て、決して自分を見失うことなく日々着実に自分を錬磨し続けてほしいと思います。教職員一同は君達の努力が実を結ぶよう、力を合わせて応援します。

教授 飯沼 恒一（いいぬま こういち）

これまでの就職率



基本的なビジネスマナー（2008年12月）

今後の3年生対象 就職支援プログラム 就職支援プログラムは10月から開始され、前半3ヶ月・後半3ヶ月で行ないます。

開催日	テーマ	内 容
1月16日（金）	就職活動の流れ	就職活動スケジュールや心構えを中心に講義し、自己分析のための職務適性テストを行なう。
1月19日（月）	前半まとめ	事前アンケートを実施し、質問・疑問に答えていく。また、合同企業説明会・企業セミナーへ参加する際の注意事項などをレクチャーする。
2月9日（月）	業界・企業研究	就職活動でもっとも重要な、業界・企業・仕事選び、仕事探しのための見方や、情報収集の仕方を解説する。
2月13日（金）	自己分析	前回職務適性テスト受検者に対して結果解説をし、自分発見と自己分析の仕方をワークシートを使いながら実際に行なっていく。
2月16日（月）	エントリーシート対策	講義で注意点や過去の例を紹介。また、実際にエントリーシートの作成を行なう。
2月27日（金）	エントリーシート対策	同 上
3月9日（月）	面接対策	面接の種類や選考のポイントを講義。また、実際の個人面接を想定したビデオを視聴する。
3月13日（金）	面接対策	同 上
3月16日（月）	面接対策	グループディスカッション：①レクチャーなしで行なう②解説③メンバー変更、テーマも変え再度実施④問題点を明確化させる
3月23日（月）	面接対策	想定問題や回答の仕方を講義し、疑問・質問に答えていく。また、面接を体験している学生の体験談を共有していく。
3月27日（金）	面接対策	グループディスカッション：①レクチャーなしで行なう②解説③メンバー変更、テーマも変え再度実施④問題点を明確化させる
3月30日（月）	就職活動全般 Q & A	就職活動が本格化してきている時期の疑問・質問を解決するための総まとめ。事前アンケートを実施し、問題点に答えていく。

※詳細はキャリアサポート課へ

ライフデザイン学部設置記念講演会

工業経営入門・技術系企業 倫理論公開授業

経営コミュニケーション学科

教授 渡部 順一
わたなべ じゅんいち



2008年10月10日(金)長町キャンパスにて、元国務大臣(科学技術政策・食品安全・IT担当)・参議院議員 松田岩夫(まつだいわお)先生をお迎えして、「イノベート・ニッポン：日本を“世界の頭脳センターに”」をテーマにライフデザイン学部主催講演会・公開授業が催されました。

当日は、岩崎俊一理事長、沢田康次学長、ライフデザイン学部教職員等の本学関係者、経営コミュニケーション学科等の学生の他、地域産業界などから約150名の参加がありました。

日本の課題、日本と世界の課題、及び世界の課題を取り上げて、課題解決のためには科学技術の振興が重要であると情熱をこめてお話しになり、「徹底的に長所を伸ばし世界No.1を目指せ」との激励もあり、聴衆一同圧倒されて聞き入り、有意義な講演会となりました。



松田岩夫氏の講演会・公開授業



講演会・公開授業参加者

(写真撮影：経営コミュニケーション学科 猿渡学准教授)

第3回 秋の八木山フェスタ (本学 初参加)

地域との連携

八木山動物公園・八木山ベニーランドで2006年から開催されている「秋の八木山フェスタ」の第3回が2008年11月8日(土)に行なわれ本学が初参加しました。

本学八木山キャンパス会場では、知能エレクトロニクス学科から「ロボット展示」と「バーチャルカメレオン」、地域安全安心センターから「自分の体を知ろう!! (血管年齢測定)」、『LOHAS』で暮らすための事例紹介及び「住まいの防災ドクター」が行なわれました。また、吹奏楽部と泉シンフォニックウィンドオーケストラの合同演奏会も開催されました。

廃油で作る石鹸(LOHAS)や、ティッシュボックスハウスコンテスト(防災ドクター)など楽しい企画があり、地域住民の方々に喜ばれていました。

(広報室)



バーチャルカメレオン



ロボット展示



血管年齢測定(後方は石鹸づくり)



ティッシュボックスハウスコンテスト



合同演奏会

学生の自主活動紹介⑪

宮城・仙台を もっと面白くしよう！

情報通信工学科2年 佐藤 尚太
さとう しょうた



私は学外にて「せんだい・みやぎオータムセミナー」の
実行委員、「仙台イーグルスカフェ」の代表など様々な活
動をしています。「オータムセミナー」は、各界で活躍さ
れている約150名もの市民講師の方々が、働くことや生き
方を考えるきっかけとなる多くの出会いを創り出すイベン
トです。第1回から市民講師として参加しましたが、2008
年4月から講師の傍ら大学生スタッフと
しても関わらせていただいています。

イーグルスカフェは、楽天イーグルス
を市民目線で多角的に支える団体です。
活動は、観戦初心者の皆様をサポートす
る合同応援ツアー“Touch the EAGLES”
を昨年夏に開催し、約100名もの参加者
の皆様へ、意外と知らないチケット購入
方法と応援方法やおすすめ飲食物を、ファ



東北楽天イーグルスを100倍楽しむ方法！
(2008年10月オータムセミナー講義風景)



Touch the EAGLES (2008年6月)

ジャズフェス出場！

—東北工業大学JAZZ研究会—

デザイン工学科4年 中新井 悠次
なかあらい ゆうじ



私は現在JAZZ研究会に所属しています。主な活動とし
て、毎週月・水の18:00から銀河サークル棟2階の部室で
JAZZスタンダードを中心にセッションしたりしています。
その活動の一環として、2008年9月に「定禅寺ストリート
ジャズフェスティバル in SENDAI」に参加しました。これ
は、仙台市の定禅寺通りを中心に、各所の街角屋外をステー
ジに催される音楽祭であり、街中が音楽一色になるという
大規模なイベントです。出場するにあたり、前夜祭にも招
待され、せんだいメディアテークでプロの方とのセッショ



定禅寺通り シンボルロードオデュッセウス像前（ジャズフェス）

ンも行ないました。私たちは大勢の人が集まる中で演奏し、
とても緊張しましたが、充実した楽しい日を送れたと思っ
ています。



ジャズフェスに出場したメンバー



せんだいメディアテーク（ジャズフェス前夜祭）



八木山キャンパス食堂 コリドーホール（工大祭）

2009 年を迎えて

学部生

SD1年	中野 優紀	(宮城県)	今年は積極的に勉強や行動を起こしてたくさんの方の事を吸収していきたいと思っています。
MC1年	金 萌美	(宮城県)	今年は第1期生としてさらに自覚を持ち、勉学にサークルに一生懸命励みたいと思います。
SD1年	渡部 生	(秋田県)	昨年より健康面、経済面、学力面を向上させ、両親に心配をかけないようにしたいです。
MC1年	小林幸太郎	(宮城県)	来年度は新しく後輩が入ってくるので、その手本となるように一層頑張りたいです。
E2年	鈴木 亮	(福島県)	今年は、1番楽しいことを見つけたいと思います。
E2年	菅原 大樹	(岩手県)	今年は節約をして、お金に困らない生活をしたいです。
K3年	加藤 卓	(宮城県)	今年は面倒なことや辛いことも途中で投げ出さず、何ごとにも楽しく取り組んでいきたいです。
A3年	田村 嘉脩	(岩手県)	勉強や就職活動に全力で取り組み、研究など様々なことに挑戦したいです。
C3年	高嶋 祐介	(宮城県)	今年は大学生活最後の年なので、自分の進む道をしっかりと決めたいと思います。
D3年	目黒 司	(福島県)	自分がしたい事が一番できる時期。充実したデザインへの取り組みができるようにしたいです。
K3年	佐藤 葵	(宮城県)	3年間やってきたことを残りの1年で発揮したいと思います。
T4年	永田 雅喜	(山形県)	学生生活も残りわずかなので、思い残すことのないように過ごしたいです。
A4年	由利真知子	(宮城県)	視野を広く持ち、いろいろな世界に触れて、自分を高めていきたいです。
C4年	浅野 将文	(山形県)	しっかりと社会人になるために、いろいろな部分を準備していきたいです。
D4年	相馬 由佳	(宮城県)	「諦めなければ、夢は叶う」幾度新年を迎えても、夢を持ち、努力していきたいです。
T4年	佐藤 智美	(宮城県)	今年は社会人として世の中に羽ばたく年なので、何事にも恐れず頑張りたいと思います。

大学院生 博士(前期)課程

E1年	早川健太郎	(岩手県)	年明けを迎え、気分を新たに本学や研究室に貢献し、また研究に力を注ぎたいです。
K1年	和田祐喜子	(秋田県)	院生最後の年なので、院生生活で吸収できるものを精一杯吸収したいと思います。
T2年	植葉 雄也	(福島県)	4月から新社会人です。まずは修士論文を仕上げ、残りの院生生活を満喫したいです。
A2年	澁谷 陽	(福島県)	今年は進学することを目標とし、研究や勉強などに、精進していきたいです。
C2年	及川 幸志	(宮城県)	今春は人生の新たな出発点です。院生生活を礎に自分の道を切り開いて行こうと思っています。
D2年	足立 邦登	(北海道)	残りわずかの大学院での時間を一つ一つ大切に！次に生かしていきたいと思っています。

イメージネーション講座 2008年10月13日(月)

あらゆる場で活躍する市民講師150人による【せんだい・みやぎオータムセミナー】が東北学院大学で開催されました。セミナーの中の「イメージネーション講座」で、本学の沢田康次学長が「生きていることとイメージネーション」を、新技術創造研究センター野澤壽一助教が「イメージネストになろう!」をテーマに講義を行ないました。それぞれの講座の受講者は200人を超え、セミナー全体には約2000人が来場しました。



鈴木健一准教授(情報通信工学科)が財団法人石田(實)記念財団「平成20年度研究奨励賞」を受賞!

この賞は、情報通信産業の進歩、発展に貢献・寄与する研究が認められた学術研究機関の研究者に贈られるものです。受賞内容は「仮想記憶の統合による計算機のメモリスステムの高速化に関する研究」です。

鈴木健一准教授のコメント

高速なマイクロプロセッサが安価に手に入る現在では、メモリスシステムがシステム全体の性能を左右します。今回、受賞した研究では、メモリスシステムの管理と仮想記憶機構の管理を一元化することで、効率を高めています。



CE進路セミナーⅡ 建設システム工学科1年

2008年10月30日(木)と11月13日(木)に、参加者が2グループに分かれ、社会的弱者(半身不随・高齢者)体験と社会貢献活動(学内清掃)を行ないました。



避難訓練

2008年10月31日(金)

八木山・長町の両キャンパスにて、学生・教職員全員を対象とした避難訓練を行ないました。参加者は地震や火事に備え、真剣な表情で訓練に取り組みました。



年度末の主な行事日程

1月16日(金)	後期試験時間割発表
17日(土)~18日(日)	大学入試センター試験
21日(水)~23日(金)	後期補講期間
26日(月)~30日(金)	後期試験期間
2月2日(月)~3日(火)	就職企業説明会(3年生)
4日(水)~6日(金)	一般入試(A日程)
9日(月)~10日(火)	リーダーズキャンプ
13日(金)	後期試験成績発表/追・再試験時間割発表
20日(金)~25日(水)	後期追・再試験期間
3月3日(火)	大学院博士(前期)課程(2期)
	博士(後期)課程入試
4日(水)~6日(金)	公務員・民間就職試験対策講座
6日(金)	一般入試(B日程)及び社会人特別・外国人留学生特別入学試験(2期)
9日(月)~11日(水)	公務員・民間就職試験対策講座
11日(水)	卒業生発表
19日(木)	学位記授与式
26日(木)	進級者発表

(((キャンパス短信)))

●故 平沼幸男氏(名誉教授)の生前の御功績に対し、このたび内閣総理大臣から従五位瑞宝中綬章が授与されました。

表紙写真: 長町キャンパス食堂 昼休み風景
撮影・広報室 高橋 信恵